

(1) 本校の教育目標

社会構造の変化の中、新しい社会や時代を生きる人間としての基盤となる力（生きる力）を養うことを目指す。そのために、校訓「力いっぱい」のもと、子供の優れた個性を伸ばし、「知・徳・体」の調和のとれた人間形成を図るとともに、社会性を育み、個別最適な学びと協働的な学びの実現により子供の学びを深め、主体的に活動していく態度を培う。

<教育目標>	心豊かに、力いっぴいやる子の育成
<目指す子供>	・ 創意工夫し、意欲的に学び続ける子 (知) ・ 礼儀正しく、心の通う仲間づくりをする子 (徳) ・ いのちの大切さを知り、健康でたくましい子 (体)

(2) 経営方針

ア あたたかい学校

挨拶と返事、「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言え笑顔あふれる学校にする。

イ 学ぶ喜びを感じる学校

子供が学ぶ意欲をもち、互いに学び合うことを通して、成長を実感できる学校にする。

ウ 個を生かす学校

自他の特性を理解し、一人一人の個性や能力が発揮できる学校にする。

エ 郷土に根を張る学校

子供が郷土への愛情をもち、家庭・地域と協働し、持続的で魅力ある学校にする。

オ 夢をはぐくむ学校

国際社会に生きる日本人として、未来の創り手となる資質や能力を育成する学校にする。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 子供が成長を実感できる教育活動の推進

日々の教育実践や学校行事、子供の思いを生かした多様な体験活動等により、達成感や充実感等を味わわせられることを目指す。

イ 主体的に学び続ける資質や能力の育成

チーム学習を推進し、「主体的・対話的で深い学び」につながる、「**楽しい**」「**分かった**」を**実感できる授業づくり**を行う。さらに、「見通しをもつ」「人と関わる」「自らの考えを見直す」ことを意識した実践を通して、将来にわたって主体的に学び続ける資質や能力の育成を目指す。

ウ いじめ、長期欠席対応の充実

子供の変化を的確に捉え、子供や保護者に寄り添った対応を心がけるとともに、迅速かつ組織的な指導体制の構築を図ることで、子供が安心して笑顔で**楽しく**過ごせる学校を目指す。

エ 多忙化解消に向けた業務改善

教職員の心身の健康を保持するため、職場の多忙化解消に向けた業務改善を目指す。

- ・ 長時間労働の是正に向けた在校時間管理の適正化、タイムマネジメント能力向上を図る。
- ・ 職務環境の整備を進めるとともに、業務内容の精選や見直し、打ち合せ等の効率化、校務分掌の適正配置により、教職員に過剰な負担とならない学校マネジメントに努める。
- ・ 部活動は、活動日は、平日2日以内、休日1日以内の活動とし、週休日の活動は、年15日程度（月2～3回程度）とする。顧問の指導体制の効率化を図ることで、教員の勤務時間外における負担を軽減する。今年度、11月以降の部活動は、地域移行を進める。
- ・ 学校は、保護者・地域・関係諸機関との連携強化に努め、教育支援体制の整備に努める。
- ・ コミュニティー・スクールとして、学校・家庭・地域との協働体制を強化する。**まずは、部活動の地域移行・花壇サポートスタッフの確立などを進める。**

(4) 目指す教師像

ア 心身ともに健康で、常に笑顔で明るく振る舞うことのできる教師

イ 子供への深い愛情をもち、一人一人に心から寄り添いながら、子供とともに喜びを分かち合える人間関係を構築し、温かい指導・支援ができる教師

ウ 子供理解に努め、子供の良さを素直に認める優しさの中にも、間違いに対して毅然とした態度で臨むことのできる教師

エ **謙虚で素直に学ぶ姿勢をもち、ともに認め合い、助け合い、高め合える環境づくりに努める教師**